

令和8年度「新興・再興感染症研究基盤創生事業（**多分野融合研究領域**）」に係る公募概要



公募研究開発課題

- 多分野融合による感染症創薬科学に資する基礎的な研究

事業内容

- 研究開発実施予定期間：令和8年度～令和8年度末※
- 研究開発費の規模：年間 **12,000千円**（上限）（間接経費含まず）
（若手・女性枠）年間 10,000千円（上限）（間接経費含まず）
- 新規採択課題予定期数：0～5 課題程度
（若手・女性枠）0～3 課題程度

※本研究開発事業は令和8年度末で終了予定ですが、後継の事業の予算が成立した場合に研究期間を
令和10年度末まで2年間延長するので、**研究開発提案書は3年間の予定**を作成の上で応募すること。

免疫学、ゲノム科学、細胞生物学、バイオ医薬、
オミクス、材料科学、化学、工学、数理科学、
AI、情報科学、臨床医学・疫学、等

多分野融合研究

従来の感染症研究

⇒ 多様な視点からの斬新な着想に基づく
革新的な基礎的研究の推進

求める提案概要とその成果

臨床医学、薬学、生命科学、獣医学、工学、情報科学、応用物理学、
化学等の**多分野間の融合**による、革新的な感染症の基礎的研究と、
次世代の感染症研究をリードする**人材の育成**を盛り込む提案課題

・病態の分子レベルでの理解に基づく**発症予防法の開発や治療標的の同定**
⇒ ・治療戦略の最適化など**臨床現場での課題の解決**
・基礎的研究成果の実用化、社会実装に資する新たな技術の創出

求める提案 提案課題については以下の内容を重視し、より積極的に評価します。

- 多分野研究領域による融合的な観点・手法・アプローチ**
幅広い専門分野の研究者との共同研究等、多様な研究領域間の連携による革新的な基礎研究を推進する提案。
- 臨床現場からもたらされる課題・臨床医の問題意識に立脚した提案**
臨床医を研究体制に含め、患者の臨床情報や検体解析の知見を基に、臨床現場での課題解決を目指す提案。
- 本事業の支援対象の研究領域における研究成果のさらなる活用の提案**
「海外拠点研究領域」「海外拠点活用研究領域」「BSL4拠点形成研究」における研究との連携や発展につながる提案。
- 事業部内外との連携推進**
上記の3研究領域、AMED-CREST（革新的先端研究開発支援事業）、海外研究機関等との研究連携を行う提案。

連絡先

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構
感染症研究開発事業部
感染症研究開発課
<問合せアドレス>
jprogram"AT"amed.go.jp